

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス サンFC金沢南		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 13日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体育館やグラウンドで思い切り体を動かすことができること。	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階や特性に応じた運動メニューを作成している。 安全管理を徹底し、安心して活動できる環境を整えている。 公共施設との調整を丁寧に行い、安定した活動場所を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長や課題に応じて定期的にメニューを見直すことを継続。 活動の目的を明確にし、職員間で共有することを継続。
2	ルール理解や社会性の向上につながる支援が行えていること。	<ul style="list-style-type: none"> 視覚支援(カード・文字・絵)を活用し、分かりやすい提示を行っている。 成功体験を重視し、できたことを丁寧に認めている。(グリーンカードやFCカードなど褒美カードを活用) 活動前後に振り返りの時間を設け、自ら考える機会をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会性の育ちを客観的に共有できるよう、評価の視点を職員間で整理する。 家庭と連携し、一貫した支援につなげる。
3	個別支援の充実と保護者との継続的な連携体制。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動の様子・成長の記録や「サッカー個別分析表」を作成し、技術面・協調性・社会性等の成長を可視化して保護者に配布している 親子サッカーや参観日、個人懇談を実施し、直接対話できる機会を設けている。 保護者からの相談に応じ、必要に応じて学校や関係機関と情報共有を行っている。 相談支援専門員と連絡を取り合い、連携した支援を意識している。 担当児童制を取り、記録と会議を通して支援の質向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携については状況に応じて調整を行い、より円滑な情報共有体制の構築を目指す。 分析結果を次期個別支援計画により効果的に反映させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会話のやり取りが難しい児童の集団活動への参加が難しい場面がある。	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動中心の構成になりやすい。 個別対応時間の確保が十分でない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 小集団活動や役割分担を取り入れ、参加しやすい環境を整える。 個別目標を明確にし、段階的支援を行う。
2	支援の成果の客観的評価をさらに高める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援は充実しているが、評価方法の統一が十分でない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価視点の整理と職員間共有を進める。 保護者評価結果を次年度計画へ反映する。
3	地域とのつながりをさらに深めていくこと。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性上、福祉事業所への理解や交流機会が十分とは言えない部分がある。 日常業務が優先となり、計画的な地域交流の機会を継続的に設けることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への参加を継続する。 体育館清掃や草むしり等の地域貢献活動を積極的に行う。 来年度は地域祭りへの出店を検討し、地域との接点を広げる。 子どもたちが地域の一員として自然に受け入れられる環境づくりを目指す。